

# 地方創生関係交付金の活用状況

---

# 地方創生関係交付金の活用状況

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">2015年10月 総合戦略策定</div>		総合戦略の推進(期間:2015年度~2019年度)						切れ目なく実施		
地方創生関係交付金	地方創生先行型	総合戦略策定費など								
	地方創生加速化交付金		備後圏域ウェブサイト「びんごライフ」制作など							
	地方創生推進交付金	事業完了 資料:2-1	だれもが挑戦できるまちづくり		○福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz運営 ○ものづくり人材育成事業 など					
		事業完了 資料:2-2	地域資源を活用したまちの魅力・活力創出事業		○備後圏域デニムプロジェクト事業 ○水産物ブランド化推進事業 など					
		事業完了 資料:2-3	女性キャリアデザイン支援事業		○駅前女子カフェ運営事業 ○在宅ワーク就業支援事業 など					
地方創生拠点整備交付金			水呑交流館整備							
				ふくやま美術館茶室整備						
まち・ひと・しごと創生寄附活用事業(企業版ふるさと納税)				実施中 資料:2-6	夢・希望の実現による福山未来づくりプロジェクト					
							新規	福山城築城400年 城のあるまち福のまちプロジェクト		

# 地方創生推進交付金を活用した事業の状況（2018年度実績）

計画名	だれもが挑戦できるまちづくり	計画期間	2016年度～2018年度	事業費 (内交付金)	2016年度	2017年度	2018年度	総事業費
概要	企業、行政、金融機関、各種研究を行う大学等が連携し、中小企業に対する人材確保、新商品開発、販路開拓、創業等の支援を行うとともに、実践的な技術を身につけた即戦力となる人材を育成し、地域企業の「稼ぐ力」の強化を行う。				52百万円 (24百万円)	97百万円 (49百万円)	95百万円 (45百万円)	244百万円 (118百万円)

## 1 KPIの進捗

関連するKPI	事業開始前	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標
相談対応による売上が増加した事業者割合	— (H27.3)	60.0%	63.8%	62.0%	60.0%
大卒者の地元就職率	31.7% (H27.3)	34.0%	30.8%	30.2%	38.3%
若者（20-39歳）の福山市への転入超過	▲422人 (H26)	▲188人	▲251人	▲275人	0人

## 2 主な事業内容


### (1) 福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz運営事業（事業費：61百万円）

ビジネスセンスに優れ、熱意のある専門家のビジネスコンサルティングによって、圏域事業者の「稼ぐ力」を高める。

2018年度の主な取組	成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中小企業等への経営支援               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 販路開拓、新商品開発等の支援</li> </ul> </li> <li>○ 創業支援の強化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Fuku-Biz Seedを立ち上げ、2名の先輩起業家による支援</li> </ul> </li> <li>○ 圏域市町への出張相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中小企業等の経営相談               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業からの相談 2,800件</li> <li>・ 創業支援 347件(Fuku-Biz Seedでの支援 1件)</li> <li>・ 新規相談 352件</li> </ul> </li> <li>○ 圏域市町への出張相談 24件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 創業を促進するため、Fuku-Biz Seedでの支援体制を充実する必要がある。</li> </ul>
	 <p>【経営相談による新商品開発】</p>	<p><b>今後の取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々な業種の先輩起業家をFuku-Biz Seedに配置するなど、より効果的に創業支援を実施する。</li> </ul>

### (2) ものづくり人材育成事業（事業費：3百万円）

ものづくり大学による講演会や講座、イベントを通じて、圏域企業で働く人や市民の知識・関心を高め、ものづくり人材の育成を進める。

2018年度の主な取組	成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ものづくり大学の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先端技術専門家の講演会</li> <li>・ 製造業の実践的な講座</li> <li>・ ものづくり体験イベント</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ものづくり大学への参加者数等               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先端技術専門家の講演会 参加者789名(実施回数11回)</li> <li>・ 製造業の実践的な講座 参加者155名(実施回数 24回)</li> <li>・ ものづくり体験イベント 参加者9,229名(実施回数19回)</li> </ul> </li> <li>○ 受講者満足度 98%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 圏域全体でものづくり人材の育成に取り組む必要がある。</li> </ul>
	 <p>【ものづくり体験イベント】</p>	<p><b>今後の取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 福山市以外の備後圏域内の企業の参加を促進する。</li> </ul>

事業の評価	
事業効果	○ 地方創生に非常に効果的であった
	○ 地方創生に相当程度効果があった
	○ 地方創生に効果があった
	○ 地方創生に対して効果がなかった
今後の方針	○ 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
	○ 事業内容の見直し(改善)を行う(または行った)
	○ 特に見直しをせず事業を継続する
	○ 継続的な事業実施を予定していたが中止した
	○ 当初予定通り事業を終了した
委員意見	
<p>・ 創業に関しては、広島県も取り組んでおり、備後圏域全体の取組とするには、県と市による支援はFuku-Bizを中心に連携してはどうか。</p> <p>・ Fuku-Bizによる経営支援及び創業支援に関しては、先進的な取組であり、市内事業者や創業希望者の反響も大きく、特に効果的であった取組であったと思う。</p>	

## 3 その他事業

経営力強化人材育成事業、産業支援コーディネーター派遣事業 など

## 地方創生推進交付金を活用した事業の状況（2018年度実績）

計画名	地域資源を活用したまちの魅力・活力創出事業	計画期間	2016年度～2018年度	事業費 (内交付金)	2016年度	2017年度	2018年度	総事業費
概要	本市及び備後圏域の地域資源の魅力を高めることによって、特色ある繊維産業や農林水産業などの発展につなげ、備後圏域全体の活力を創出する。				43百万円 (21百万円)	60百万円 (22百万円)	44百万円 (22百万円)	147百万円 (65百万円)

## 1 KPIの進捗

関連するKPI	事業開始前	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標
福山市における製造品出荷額	18,284億円 (H25.3)	19,375億円	18,537億円	《集計前》	19,714億円
福山市における総観光客数	6,758千人(H26.3)	7,269千人	7,250千人	7,162千人	7,030千人
道の駅等への来場者数	222千人(H27.3)	255千人	250千人	239千人	226千人

## 2 主な事業内容

## (1) 備後圏域デニムプロジェクト事業（事業費：18百万円）

「備後圏域はデニムの産地」ということを広くPRし、備後圏域の知名度向上や事業者の売上増加、人材確保の促進に繋げる。

2018年度主な取組	成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ デニムのPR活動           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デニムコンテストの開催</li> <li>・ デニムツアーの開催</li> </ul> </li> <li>○ 事業者の売上増加に向けた取組           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界最高峰のテキスタイル展「ミラノ・ウニカ」への出展</li> <li>・ 地場企業とデザイナーのマッチングによるデニム製品の開発</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ デニムコンテスト           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募数 3,703点(41都道府県から応募)</li> </ul> </li> <li>○ デニムツアー           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者 23名</li> <li>・ 参加者満足度 100%</li> </ul> </li> <li>○ ミラノ・ウニカへの出展           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商談件数 186件</li> <li>・ COACH, GUCCIなどの著名ブランドとも商談</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ デニムのブランド化を進め、備後圏域のデニム関連企業の売上増加につなげる必要がある。</li> </ul>
<div data-bbox="866 731 1114 915" data-label="Image"> </div> <p>【ミラノ・ウニカでの商談の様子】</p>		
<div data-bbox="1272 779 1402 806" data-label="Section-Header"> <h4>今後の取組</h4> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ デザイナー、ブランド向けの素材や技術をPRするとともに、産地をPRするコンテンツを制作し、ブランド化を促進する。</li> </ul>		

## (2) 水産物ブランド化推進事業（事業費：4百万円）

備後圏域で水揚げされた水産物のブランド化を推進することにより、地魚の地産地消の推進や漁業者の所得の向上につなげる。

2018年度主な取組	成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 備後フィッシュの認知度向上           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 備後フィッシュフェスの開催</li> <li>・ グルメキャンペーンの実施</li> <li>・ 「備後フィッシュの食べられる店」の認定</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 備後フィッシュフェス           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来場者 約5,000人</li> </ul> </li> <li>○ グルメキャンペーン           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加者 385人</li> </ul> </li> <li>○ 「備後フィッシュの食べられる店」の認定           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認定店舗 48店舗 (福山市38, 三原市8, 笠岡市2)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報発信力を強化し、備後フィッシュの認知度を高める必要がある。</li> </ul>
<div data-bbox="250 1208 457 1348" data-label="Image"> </div> <p>【備後フィッシュフェス】</p>		
<div data-bbox="893 1162 1127 1343" data-label="Image"> </div> <p>【グルメキャンペーン】</p>		
<div data-bbox="1272 1195 1402 1222" data-label="Section-Header"> <h4>今後の取組</h4> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食べられる店の認定数を増やし、飲食店等の民間事業者を通じた情報発信を進める。</li> </ul>		

## 事業の評価

事業効果	○	地方創生に非常に効果的であった
	○	地方創生に相当程度効果があった
		地方創生に効果があった
		地方創生に対して効果がなかった
今後の方針	○	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
	○	事業内容の見直し(改善)を行う(または行った)
		特に見直しをせず事業を継続する
		継続的な事業実施を予定していたが中止した
		当初予定通り事業を終了した

## 委員意見（抜粋）

・デニムプロジェクトについては、全国への情報発信に加え、地元でもデニムに関する企業連携が生まれるなど大きな効果があったと感じる。

・引き続き、地域資源の活用に係る情報発信を継続し、地域の知名度向上とそれに伴う経済的發展につながることを期待する。

## 3 その他の事業

福山市ブランド認定品等支援事業、設備整備等事業など

# 地方創生推進交付金を活用した事業の状況（2018年度実績）

計画名	女性キャリアデザイン支援事業	計画期間	2016年度～2018年度	事業費 (内交付金)	2016年度	2017年度	2018年度	総事業費
概要	駅前女子カフェ(LADY WORK CAFE)や働く女性をテーマにしたポータルサイトでの情報発信を行うとともに、インターネットを中心とした在宅ワークの普及などを行い、女性が地元で働く意識を醸成する。				12百万円 (6百万円)	42百万円 (21百万円)	43百万円 (21百万円)	97百万円 (48百万円)

## 1 KPIの進捗

関連するKPI	事業開始前	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標
大卒者の地元就職率	31.7% (H27.3)	33.1%	30.8%	30.2%	38.3%
若者（20～39歳）の福山市への転入超過	▲422人 (H26)	▲188人	▲251人	▲275人	0人
女性創業者数	0人 (H27.3)	16人	21人	14人	30人

## 2 主な事業内容

### (1) 駅前女子カフェ運営事業（事業費：14百万円）

駅前女子カフェ「LADY WORK CAFE」でのセミナー等の開催、ポータルサイト「BINGO WOMAN」での情報発信を行い、地元企業の認知度を向上させることで、女性の地元就職を促進する。

2018年度の主な取組	成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ LADY WORK CAFEの運営               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業の情報発信</li> <li>・セミナー、イベントの開催</li> </ul> </li> <li>○ ポータルサイト「BINGO WOMAN」での情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ LADY WORK CAFEの利用状況               <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 2,459人(会員数 995人)</li> </ul> </li> <li>○ セミナー、イベントの開催               <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数 317人(開催回数50回)</li> </ul> </li> <li>○ BINGO WOMANでの情報発信               <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画配信数 3本</li> <li>・動画視聴数 約2,500回</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幅広い世代の女性活躍を推進するため、利用対象者を拡大するなど、LADY WORK CAFEの役割を見直す必要がある。</li> </ul>
		<h4>今後の取組</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対象者を学生から社会人(子育て中の女性を含む)に拡大し、子育て中の女性の就労を促進する。</li> </ul>



【セミナーの様子】

### (2) 在宅ワーク就業支援事業（事業費：19百万円）

子育てのために離職した女性を主な対象として、意識啓発のためのセミナーや技術習得に向けた講座を開催する。

2018年度の主な取組	成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Web系在宅ワークの普及               <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発セミナーの実施</li> <li>・実践講座の実施(全3回開催)</li> <li>・フォローアップ講座の実施(全5回開催)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参加状況               <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発セミナー 参加者数 90人</li> <li>・実践講座 参加者数 52人(全3回講座)</li> <li>・フォローアップ講座 参加者数 98人(全5回講座)</li> </ul> </li> <li>○ 実施状況(平均)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・受注件数 年間 43件/人</li> <li>・総受注額 年間 52,166円/人</li> </ul> </li> </ul> <p>※実践講座参加者の内、受注実績のある45人の平均</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業自走化に向けて、ワーカーグループの安定的な業務受注体制を構築する必要がある。</li> </ul>
		<h4>今後の取組</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2020年度より、ワーカーグループが独自採算で運営していくため、必要なワーカー数の育成や継続的な業務受注に対する支援を行う。</li> </ul>



【実践講座の様子】

## 事業の評価

事業効果	○	地方創生に非常に効果的であった
	○	地方創生に相当程度効果があった
	○	地方創生に効果があった
	○	地方創生に対して効果がなかった
今後の方針	○	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
	○	事業内容の見直し(改善)を行う(または行った)
	○	特に見直しをせず事業を継続する
	○	継続的な事業実施を予定していたが中止した
	○	当初予定通り事業を終了した

## 委員意見（抜粋）

・ものづくり業界における女性の活躍促進は重要テーマであり、今後、LADY WORK CAFEにおけるセミナー等で連携できればと考えている。

・在宅ワーク支援については、セミナー参加者数を見ると需要は高いことが想定されるが、一人当たりの年間受注金額が少なく受注の確保が急務である。

## 3 その他事業

企業見学バスツアー、就業環境改善支援事業 など

# 地方創生推進交付金を活用した事業の状況（2018年度実績）

計画名	プロフェッショナル人材活用及び産学官連携による人材スキルアップ事業	計画期間	2017年度～2019年度	事業費 (内交付金)	2017年度	2018年度	2019年度	総事業費
					概要	専門的な知識や技能を有する人材を地域外から招聘し、地方への人材還流を図るとともに、高いスキルを持つ人材を地域で育成できる体制を構築する。	5百万円 (3百万円)	



## 1 KPIの進捗

関連するKPI	事業開始前	2017年度実績	2018年度実績	2019年度目標
リノベーション事業及びその波及効果による新規雇用者数	0人(H28.3)	0人	26人	36人
若者（20～39歳）の福山市への転入超過	▲441人 (H29.1)	▲251人	▲275人	300人

## 2 主な事業内容

### (1) 高度専門人材の活用（戦略推進マネージャー）（事業費：10百万円）

首都圏等の民間人材を招聘し、新たな切り口で人口減少対策を構築・実施するとともに、市内企業における外部人材の活用を促進する。

2018年度の主な取組	成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人口減少対策に効果的な施策の提案, 実施</li> <li>○ 人口減少対策を中心とした既存施策へのアドバイス(効果検証等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外部人材活用フォーラム           <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数 約30人</li> <li>・参加者の評価 大変有益又は有益 78% 外部人材の活用を今後検討したい 78%</li> </ul> </li> <li>○ キャリアデザイン×ライフデザイン講座           <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数 10人</li> <li>・参加者の評価 参加者満足度 4.3点（5点満点）働くことに前向きな気持ちを持った 90%</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外部人材との結びつきが行政に偏っており、民間企業等との結びつきを強化する必要がある。</li> </ul>
 <p>【外部人材活用フォーラム】</p>	 <p>【キャリアデザイン×ライフデザイン講座】</p>	<p>今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行政施策の枠を越えて、外部人材が持つ知識やネットワークを民間企業や市内で活躍する人材に結びつける。</li> </ul>

事業の評価	
事業効果	○ 地方創生に非常に効果的であった
	○ 地方創生に相当程度効果があった
	○ 地方創生に効果があった
今後の方針	○ 地方創生に対して効果がなかった
	○ 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
	○ 事業内容の見直し(改善)を行う(または行った)
	○ 特に見直しをせず事業を継続する
	○ 継続的な事業実施を予定していたが中止した
	○ 当初予定通り事業を終了した

## 3 その他事業

### ○自動走行実証実験（事業費：4百万円）

大学生が先端技術に触れる機会を創出することで、次世代を牽引する人材を育成するとともに、高齢者の移動手段の確保など、地域課題の解決手法としての可能性を検証する。



【自動走行車両】

### ○リノベーションまちづくり推進事業（事業費：17百万円）

まちなかに実在する遊休不動産について、全国で多彩な活動を行う講師とともに、実現可能な事業プランを作成・事業化を進めることで、遊休不動産を新しい使い道で積極的に活用し、まちの魅力や賑わいを生み出す。



【リノベーションスクール】

### 委員意見（抜粋）

・戦略推進マネージャーによる講座の開催は、参加人数こそ少なかったものの、ライフデザインという新たな取組については継続していくことを期待したい。

・事業内容が即効性のある取組ではないためKPIの達成には至っていないが、継続的な人材育成、圏域全体への広がりを期待したい。

計画名	備後圏域の魅力ブラッシュアップ事業	計画期間	2017年度～2019年度	事業費 (内交付金)	2017年度	2018年度	2019年度	総事業費
概要	備後圏域内の地域資源の魅力を高め、各種産業に関わる人材の確保につなげるとともに、圏域への移住・定住を促進し、持続可能な地域社会を構築する。				9百万円 (4百万円)	13百万円 (6百万円)	19百万円 (9百万円)	41百万円 (19百万円)


1 KPIの進捗

関連するKPI	事業開始前	2017年度実績	2018年度実績	2019年度目標
HPに連動するSNSでのフォロワー、アンバサダーの登録人数	0人(H28)	24千人	30千人	100千人
備後圏域の総観光客数	20,920千人(H26)	23,720千人	《集計前》	30,920千人

2 主な事業内容

(1) 備後ワインプロジェクト（事業費：4百万円）


備後圏域のワイン文化を醸成するとともに、圏域農産物の活用を促進することで、新規事業者の参入や新たな商品開発等につなげる。

2018年度の主な取組	成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 備後福山ワイン振興協議会の設立(2018年5月1日)</li> <li>・福山市や福山大学、福山商工会議所などで構成</li> <li>○ 備後ワインフェスの開催</li> <li>○ 備後ワイン列車の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 備後ワインフェス                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者数 5,000人 ※備後フィッシュフェス同時開催</li> </ul> </li> <li>○ 備後ワイン列車                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者数 35人</li> </ul> </li> <li>○ 備後ワイン・リキュール特区を活用した酒類等製造免許の取得(1事業者)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 備後圏域のワイン文化を醸成させるため、継続して魅力発信を行う必要がある。</li> </ul>
		<p>今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 備後・福山産ワインが飲める店マップを作成し、飲食店と連携を図ることで、ワインの魅力を発信する。</li> </ul>

【備後福山ワイン振興協議会の設立】

(2) 備後リトリート事業（事業費：3百万円）

備後圏域の癒しスポットを圏域の地域資源として効果的に情報発信する。  
※リトリートとは…日常生活から離れる時間を持つことで、心身をリセットすること。

2018年度の主な取組	成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ モニターツアーの開催</li> <li>・20～30代女性をターゲットにし、女性モデルと一緒に圏域内の癒しスポットをめぐるツアーを実施</li> <li>○ 地域資源の魅力発信</li> <li>・ツアー参加者によるSNSでの情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参加状況                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者 28名(応募者 122名)</li> <li>・年代 20代:25名, 30代:3名</li> <li>・所在 関西圏:8名, 関東圏:6名など</li> <li>・参加者満足度 96% (満足+ほぼ満足)</li> </ul> </li> <li>○ 情報発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・投稿件数:88件, いいね件数:32,670件</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一過性で終わらないための継続的な情報発信や、圏域内の癒しスポットを開拓する必要がある。</li> </ul>
		<p>今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 備後圏域の新たな癒しスポットを開拓し、圏域の情報サイト「びんごライフ」で、休日の備後の楽しみ方として発信する。</li> </ul>

【ツアー参加者の様子】

事業の評価	
事業効果	○ 地方創生に非常に効果的であった
	○ 地方創生に相当程度効果があった
	○ 地方創生に効果があった
	○ 地方創生に対して効果がなかった
今後の方針	○ 事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
	○ 事業内容の見直し(改善)を行う(または行った)
	○ 特に見直しをせず事業を継続する
	○ 継続的な事業実施を予定していたが中止した
	○ 当初予定通り事業を終了した

委員意見（抜粋）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の魅力を市内外に情報発信していくことは、若者の移住・定住の促進に繋がるものであり、取組の深化に期待する。</li> <li>・備後ワインプロジェクトについては、酒類等製造免許の取得業者が現れるなど地元産業への効果があったと考えるが、地元飲食店への更なる魅力発信が必要。</li> </ul>

3 その他事業

備後圏域プロモーション事業、備後圏域創業促進事業 など

計画名	夢・希望の実現による福山未来づくりプロジェクト	計画期間	2017年度～2019年度	事業費 (内寄附金)	2017年度	2018年度	2019年度	総事業費
概要	子どもや若者が自らの理想とするまちづくりの実現などを通して、ふるさと福山への愛着と誇りを醸成する。そして、希望する職業やチャレンジしたいと思える職種への就職等へと繋げることで、地元への定着率を高め、活力あるまちを実現するとともに、人口減少に歯止めをかける。				20百万円 (10百万円)	10百万円 (5百万円)	12百万円 (10百万円)	42百万円 (25百万円)

1 KPIの進捗

関連するKPI	事業開始前	2017年度実績	2018年度実績	2019年度目標
若者（20-39歳）の福山市への転入超過	▲188人 (H28)	▲251人	▲275人	100人
市内大学卒業者の市内就職者数	385人 (H27)	334人	346人	440人
市民の提案により実現した施策数	—	98件	6件	15件

2 主な事業内容

(1) 夢・未来プロジェクト事業（事業費：2百万円）※2018年度企業版ふるさと納税充当

次代を担う子どもたち(中学生)の夢の応援を通して、夢の実現に向けたチャレンジを増やし、未来を創る力を向上させる。

2018年度の主な取組	成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 夢へのチャレンジ支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夢へのチャレンジを募集</li> <li>・ 語ろう！夢を未来を！プレゼン大会の開催</li> <li>・ 夢へのチャレンジ支援</li> </ul> </li> <li>○ チャレンジ支援の番外編                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援対象外の中学生を支援</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 夢へのチャレンジ支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募件数417件(過去最多)</li> <li>・ 夢へのチャレンジ支援 4組</li> </ul> </li> <li>○ チャレンジ支援の番外編                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夢へのチャレンジ支援 3組</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 福山市への愛着と誇りの醸成を市民や企業、団体が一体となって行うため、本事業を通じて、子どもたちの夢の支援者を増やす取組が必要である。</li> </ul>



【最終審査プレゼン大会の様子】



【支援の様子】

3 その他事業

- グローバル人材育成事業（事業費：4百万円）  
備後圏域内の4大学が事業主体となり、自治体や地元企業と連携し、国際社会で活躍できる人材の育成に取り組み、持続可能な地域社会の発展に貢献できる人材を輩出する。
- 未来づくり活動への支援事業（事業費：4百万円）  
30年後のより良い未来社会の実現に向け、未来づくりに意欲がある人が集い、アイデアを形にしたい人たちが対話を通じて、チームづくりを行いながら、アクションにつなげる場を創出し、実践に向けて支援する。
- 子ども議会・高校生議会（事業費：1百万円）  
地域や社会に関心を深め、福山への愛着と誇りをもってまちづくりに参画する若者を育成する。



【企業の海外事務所訪問】



【未来づくりミーティング「福山未来共創塾」の開催】

事業の評価	
事業効果	地方創生に非常に効果的であった
	地方創生に相当程度効果があった
	○ 地方創生に効果があった
	地方創生に対して効果がなかった
今後の方針	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる
	○ 事業内容の見直し(改善)を行う(または行った)
	特に見直しをせず事業を継続する
	継続的な事業実施を予定していたが中止した
	当初予定通り事業を終了した
委員意見（抜粋）	
・本事業は、子供たちが地元で愛着を持ち、将来も地元の担い手となる事を目的としており、効果がKPIに表れない非常に重要な事業であると考えます。  ・郷土愛の醸成や学生のUターン促進につながる事業であるため、継続的な取組の実施を期待する。	